



やまざき くひろ
山崎 邦廣 議員

問 移住定住者の永住策は

答 関連団体と連携を強化

移住・定住者を「永住」につなげていくために、移住・定住者の受け皿となる地域コミュニティを含めた様々な主体の積極的な取り組みが重要であるため、Uターン希望者

移住・定住者が「永住」につなげていくために、移住・定住者の受け皿となる地域コミュニティを含めた様々な主体の積極的な取り組みが重要であるため、Uターン希望者

移住者の皆さんが安心して充実した生活が送られるよう、総合的な相談支援体制を構築し、移住者の皆さんの状況に応じたきめ細かな支援制度などを一層充実します。

議員 移住・定住を永住につなぐ、ソフト面の取り組みを伺います。

町長 町総合計画で最重要課題の一つを人口減少問題と位置づけ、本年4月に「いらっしやい葛巻推進室」を新設し、移住・定住施策をこれまで以上に重点化し、観光・交流分野などでの交流人口の拡大と合わせた包括的な取り組みを進めています。

また、移住者が、気軽に相談や支援が受けられる体制として、各地域の同年代とのネットワークを構築することも必要な取り組みの一つです。

移住者と地域住民、移住者同士が交流する場の創出や、産業団体との連携による雇用の場の創出、これらの取り組みを担う人材の育成など、受け入れ体制の強化を図ります。

議員 移住・定住を永住につなぐ、ソフト面の取り組みを伺います。

町長 町総合計画で最重要課題の一つを人口減少問題と位置づけ、本年4月に「いらっしやい葛巻推進室」を新設し、移住・定住施策をこれまで以上に重点化し、観光・交流分野などでの交流人口の拡大と合わせた包括的な取り組みを進めています。



葛巻町への移住者らが参加し、東京都で開催された移住者セミナー

また、移住者が、気軽に相談や支援が受けられる体制として、各地域の同年代とのネットワークを構築することも必要な取り組みの一つです。

移住者と地域住民、移住者同士が交流する場の創出や、産業団体との連携による雇用の場の創出、これらの取り組みを担う人材の育成など、受け入れ体制の強化を図ります。

議員 人口減少対策に、移住者の声を反映させることが重要と考えますが、PDCAサイクル（※）の観点での充実策を伺います。

町長 人口減少対策事業の一つとして、総務省の補助事業を中心市街地で実施しています。8月に静岡県立専門学校の生徒約15人が来町し、「まちなか」の拠点整備や旧町家などの魅力アップのために提言をいただき、今後様々な取り組みを予定しています。

また、移住者・定住者の受け入れに、地域が熱い思いを持って取り組んで行くことが重要と考えます。

（※）PDCAサイクル
計画、実行、評価、改善を表し、この課程を繰り返す事で業務の改善などを図る手法

～ 今ここが聞きたい ～

9月5日に、3議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧ができます。

問 バイパス整備後の活性化策は

答 ものづくり工房など拠点を整備



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

議員 町中心部の「まちなか」支援事業の成果と課題を伺います。

町長 「まちなか」のにぎわい創出を目的に20年度から商工会などで組織する「まちなか活性化協議会」が、JRバス葛巻駅構内を利用し、四季のイベント開催に町では助成支援しています。100円バスの利用などから、四季のまつりとして定着し、町民が「まちなか」に集うきっかけやにぎわい機運の醸成、町中心部の魅力づくりに一定の成果を上げていると感じています。

一方、イベント開催時だけでなく、日常的に町中心部ににぎわいが大切で、個店への誘客、売上げの増加のほか、魅力ある「ものづくり工房」を整備し、町外からの来訪を図る施策が課題と認識しています。

議員 バイパス整備後の、町中心部の動向と活性化への対応は。

町長 バイパス機能が整備されると中心市街地が素通りされる心配がある一方で、交通量の減少から安全に歩いて楽しめる環境になります。素通りされない活性化策は、町民をはじめ観光客など多くの方々に「まちなか」に足を運んでにぎわいを創出してもらう必要があります。

議員 バイパス整備後の、町中心部の動向と活性化への対応は。

町長 バイパス機能が整備されると中心市街地が素通りされる心配がある一方で、交通量の減少から安全に歩いて楽しめる環境になります。素通りされない活性化策は、町民をはじめ観光客など多くの方々に「まちなか」に足を運んでにぎわいを創出してもらう必要があります。

議員 町は、各商店を対象に商店設備導入事業、持続可能な産業づくり事業で助成支援し、今年度は店主のやる気と個店の魅力づくりを目的に「成功店モデル創出・波及効果事業」を実施しています。さらに国の補助事業を導入して、旧町屋などを活用した食を中心としたものづくり工房の整備や、空き店舗活用、後継者育成調査を実施して、活性化に取り組めます。



多くの人でにぎわう、まちなか紅葉まつり（葛巻駅構内）

議員 町は、各商店を対象に商店設備導入事業、持続可能な産業づくり事業で助成支援し、今年度は店主のやる気と個店の魅力づくりを目的に「成功店モデル創出・波及効果事業」を実施しています。さらに国の補助事業を導入して、旧町屋などを活用した食を中心としたものづくり工房の整備や、空き店舗活用、後継者育成調査を実施して、活性化に取り組めます。

議員 町は、各商店を対象に商店設備導入事業、持続可能な産業づくり事業で助成支援し、今年度は店主のやる気と個店の魅力づくりを目的に「成功店モデル創出・波及効果事業」を実施しています。さらに国の補助事業を導入して、旧町屋などを活用した食を中心としたものづくり工房の整備や、空き店舗活用、後継者育成調査を実施して、活性化に取り組めます。

議員 町は、各商店を対象に商店設備導入事業、持続可能な産業づくり事業で助成支援し、今年度は店主のやる気と個店の魅力づくりを目的に「成功店モデル創出・波及効果事業」を実施しています。さらに国の補助事業を導入して、旧町屋などを活用した食を中心としたものづくり工房の整備や、空き店舗活用、後継者育成調査を実施して、活性化に取り組めます。

議員 町は、各商店を対象に商店設備導入事業、持続可能な産業づくり事業で助成支援し、今年度は店主のやる気と個店の魅力づくりを目的に「成功店モデル創出・波及効果事業」を実施しています。さらに国の補助事業を導入して、旧町屋などを活用した食を中心としたものづくり工房の整備や、空き店舗活用、後継者育成調査を実施して、活性化に取り組めます。

議員 町中心部振興の核となるJRバス葛巻駅構内の土地取得と「まちなか道の駅」整備計画を伺います。

町長 これまで交流拠点施設候補地として、JRバス葛巻駅周辺を想定し、商工会関係者と協議した経緯がありますが、土地取得や全体事業費の問題など、事業化に向けた課題が多い状況でした。町では、町民が1カ所で様々な用事を済ますことができる利便性の高い「コンパクトシティ（※）のまちづくり」を目指す構想を検討しています。このような事情などを踏まえ、現時点ではJRバス葛巻駅構内の土地取得の構想はありません。

（※）コンパクトシティ
商業地や行政サービスなど、生活上必要な機能を一定範囲に集め、効率的な生活や行政を目指すこと



やまぎし み 山岸はる美 議員

問 常勤医師の確保策は

答 関係機関に派遣依頼を継続

議員 医療サービスの向上について伺います。診察待ち時間の短縮策の考えは。

町長 今年度の外来患者数は、1日当たり平均138人で、特に月曜日と火曜日が多い状況です。午後は午前に比べて、外来患者数が少ないため、病院に比較的近い方や時間的に余裕のある方には、引き続き午後の受診を、お願いする考えです。

なお、10月から眼科の診療日時が応援医療機関との調整により、月曜日と金曜日の午後に変更になりました。今後の患者数の動向を注視していきます。

議員 延長診療医師の負担軽減のため、医師のローテーション化の考えは。

町長 現在、延長診療は発案者の医師のみが担当していますが、過度な負担を防ぐように、休息

時間を確保するなどの配慮をしています。

議員 整形外科医など、常勤医師の確保の見通しは。

町長 本年4月1日現在の医師充足率は、標準数の4.9に対して7.9で、県内の医療機関と比較しても高い充足率です。今後も、県や岩手医科大学などに派遣依頼し、医師確保に努めます。

問 交流人口の増加受け入れ体制は

答 受け入れ体制は十分な状況に

議員 交流人口の増加によるスポーツ合宿や公共工事関係者などの、宿泊者の受け入れ体制は。

町長 施設の客室稼働状況ですが、一時的に満室になり客室が不足する場合は、同じ会社の工事関係者に相部屋をお願い

しています。それでも客室が不足する場合は、近隣の宿泊施設を紹介するなどの対応をしています。現時点では、十分な受け入れ体制が構築されていると考えます。

議員 産直施設の運営は、利用者の要望に配慮されている状態ですか。

町長 産直の運営団体に対して適切な施設運営とサービス向上の要請を行いながら、利用者にとって適な施設環境の提供に努めます。

議員 外国人に向けた、公共施設等の案内表示は十分ですか。

町長 昨年度、観光パンフレットとドライブマップの英語版と中国語版を製作しました。案内表示の外国語表記は、DMO関係事業の調査や分析の結果を踏まえて検討します。



葛巻病院の受付・会計窓口の様子

9月8日の9月定例会議最終日、緊急質問を行いました。質問内容が緊急を要するものや、その他やむを得ないと認められる場合に、議会の同意を得て質問することができます。質問の方法は一般質問に準じて行います。



たつやなぎ けいいち 辰柳 敬一 議員

問 台風被害復旧工事の見通しは

答 早期実施に向けて調査を進める

議員 台風10号による被害状況を伺います。

町長 8月30日に襲来した大型で非常に強い台風10号は、気象庁が統計を取り始めて以来、初めて東北地方の太平洋側に直接上陸した台風で、東北地方と北海道の太平洋側の市町村に甚大な被害をもたらしました。

24時間当たりの最大雨量は五日市観測所が121mm、中外川観測所が114mmで、岩泉町境の江刈地区や上外川地区が強い雨となりました。

9月7日時点での各施設の被害状況は、公共土木施設は、河川22カ所、道路19カ所、橋梁2カ所、計43カ所に被害が出ました。なお、災害申請は県との事前協議が必要のため、今後、災害件数が増えます。

農業施設等の被災状況は農道3カ所、用水路な

どの農用施設4カ所、計7カ所のほか林道で6カ所が被害を受けました。

農業施設等は、現在も調査を継続中で、さらに被災箇所が増加することが見込まれます。早急に調査を終え、被害状況の全体像を把握します。

災害復旧に要する概算事業費は、公共土木施設に約4億7千万円、農業施設に約9千万円、林道に約2千万円で、合計で約5億8千万円の見込みです。

議員 災害復旧事業の予算確保と、復旧工事の実施時期を伺います。

町長 これまで、各施設の被害状況の把握と調査、2次被害防止のための応急対策を、優先的に実施してきました。これらの経費は、既存の予算で対応を進めているほか、早急な対応が必要で住民生活に危険と不

便が生じる箇所については、予備費で対応します。本格的な災害復旧工事を進めるためには、国庫補助の採択に向けた災害査定準備のため、被災箇所の調査や事業費の積算などを行います。一定の作業期間を要します。災害査定に向けた調査・設計費と、小災害などの町単独修繕事業費は、被災箇所の事業費の積算が整い次第、速やかに予算措置します。

災害復旧本体工事費は、国庫補助の災害査定終了後に予算措置します。

県管理の国道や県道、河川などの災害復旧工事は、町でも被災状況を的確に把握し、早期に復旧が進むように、県にしっかりと要望を伝えます。

町民生活への影響が最小限に抑えられるよう、速やかに応急措置を講じていますが、本格復旧には一定の時間が必要です。



河川の増水によって崩落した国道340号と町道本木遠矢場線（江刈本木地区）